

講義名称	行政学	担当教員名	堀田 学
科目群	社会科学 (SOC)		
科目区分等	政治	単 位	2
対象学年次	1 年・秋学期	ナンバリング	SOC113

授業のキーワード	行政、地方自治、ガバナンス	
授業の概要	現代社会は、行政の比重が多く、「行政国家」といわれることがあります。また、近年盛んなガバナンスの議論では行政は住民とのパートナーとして考えられています。この授業では行政について考えていきます。	
期待される学習成果（目標）	1. 新聞・ニュース等で取り上げる時事問題が理解できる。 2. 政治学と現代地方自治を合わせて履修するとさらなる理解が深まる。 3. 公務員の仕事をイメージできる。	
授業展開		
回	テーマ	内 容
1	行政学とは	授業のオリエンテーションと「行政」・「行政学」についての説明をします。
2	行政学説史①	行政学の学説について学んでいきます。
3	行政学説史②	行政学の学説について学んでいきます。
4	国家公務員	日本の国家公務員制度について学びます。
5	内閣制度	行政を担っている内閣について学びます。
6	中央省庁	中央省庁について学び、中央省庁での政策形成について説明します。
7	予算編成	予算編成過程について説明します。
8	行政改革	日本で行われた行政改革について学びます。
9	中央地方関係	日本の中央地方関係について説明します。
10	地方財政	地方財政について行政学の立場から考えます。
11	大都市行政と広域行政	大都市制度について説明します。
12	官僚制論①	ウェーバーの官僚制について学びます。
13	官僚制論②	ウェーバー以外の官僚制論について学びます。
14	日本の行政システム	日本の行政システムの特徴について学びます。
15	日本の行政の展望	人口減少、財政赤字のなかでの行政について展望します。
定期試験		
定期試験	重要用語の理解、ならびに各講で取り上げた内容から出題します（記述も含む）。	
評価方法	定期試験（100％）で評価します。 定期試験の受験資格として3分の2以上の出席が必要なので出席は毎回取ります。	
使用する教科書（必ず購入してください）	真淵勝『行政学案内（第2版）』慈学社出版、2014年	
参考文献	縣公一郎・藤井浩司編『ダイバーシティ時代の行政学』早稲田大学出版部、2016年 伊藤正次・出雲明子・手塚洋輔『はじめての行政学』有斐閣、2016年 原田久『行政学』法律文化社、2016年	